

Step 5 条件で判断する

1 IF関数

「IF関数」を使うと、指定した条件を満たしている場合と満たしていない場合の結果を表示できます。

●IF関数

論理式の結果に基づいて、論理式が真 (TRUE) の場合の値、論理式が偽 (FALSE) の場合の値をそれぞれ返します。

=IF (論理式, 真の場合, 偽の場合)

① ② ③

①論理式

判断の基準となる数式を指定します。

②真の場合

論理式の結果が真 (TRUE) の場合の処理を数値または数式、文字列で指定します。

③偽の場合

論理式の結果が偽 (FALSE) の場合の処理を数値または数式、文字列で指定します。

例:

=IF (E5=100, "○", "×")

セル [E5] が「100」であれば「○」、そうでなければ「×」が返されます。

※引数に文字列を指定する場合、文字列の前後に「」（ダブルクォーテーション）を入力します。

1 条件がひとつの場合


H列に「評価」を表示する関数を入力しましょう。

次の条件に基づいて、「可」または「不可」の文字列を表示しましょう。


「合計」が140以上であれば「可」、そうでなければ「不可」

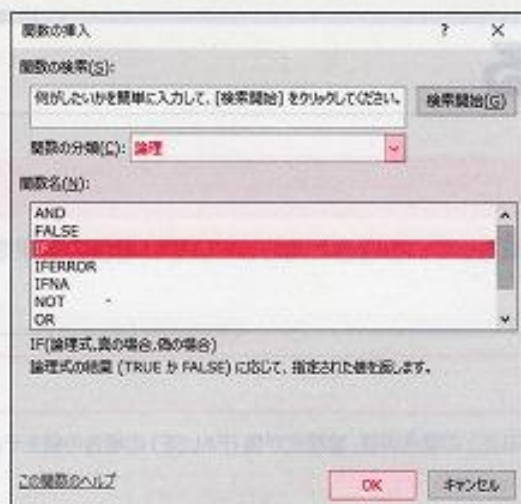
セル [H4] に1人目の「評価」を求め、コピーします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1		社内研修成績評価								
2										
3		社員No.	氏名			合計	順位	評価		
4		S9313	逸藤			180	3			
5		S9504	神谷			184	2			
6		S9803	川原			120	13			
7		S9805	横田			164	7			
8		S9904	斎藤 信也	100	98	198	1			
9		S0002	坂本 利雄	45	45	91	14			
10		S0111	山本 凉子	66	78	144	9			
11		S0313	伊藤 隆	57	67	124	11			
12		S0402	浜野 隆子	87	67	154	8			
13		S0403	越前 夏江	92	85	177	4			
14		S0504	白井 麗	57	71	138	10			
15		S0502	豊橋 肇介	60	63	123	12			

 (関数の挿入) を使って入力します。

①セル [H4] をクリックします。

②  (関数の挿入) をクリックします。



《関数の挿入》ダイアログボックスが表示されます。

③《関数の分類》の をクリックし、一覧から《論理》を選択します。

④《関数名》の一覧から《IF》を選択します。

⑤《OK》をクリックします。



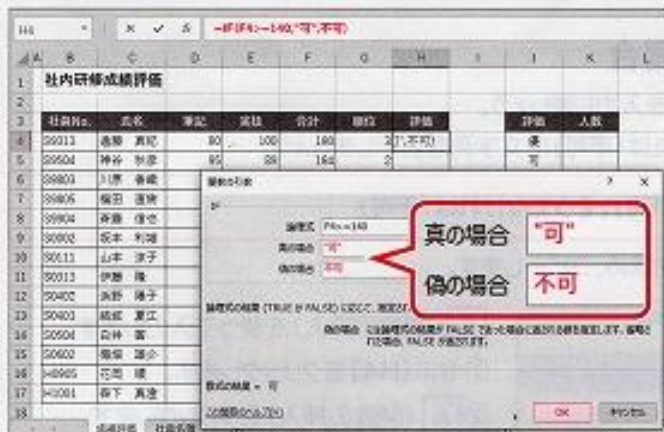
《関数の引数》ダイアログボックスが表示されます。

⑥《論理式》にカーソルがあることを確認します。

⑦セル【F4】をクリックします。

《論理式》に「F4」と表示されます。

⑧「F4」に続けて「>=140」と入力します。



⑨《真の場合》に「可」と入力します。

⑩《偽の場合》に「不可」と入力します。

※《偽の場合》にカーソルを移動すると、《真の場合》に入力した「可」が自動的に「」（ダブルクォーテーション）で囲まれます。

⑪数式バーに「=IF(F4>=140,"可","不可）」と表示されていることを確認します。

⑫《OK》をクリックします。

社内研修成績評価									
社員No.	氏名	筆記	実技	合計	順位	評価	評価	人数	
S0013	渡部 真紀	80	100	180	2	可	可		
S0004	神谷 秋彦	95	80	174	2	可	可		
S0003	川原 香織	65	55	120	13	不可	不可		
S0005	福田 直樹	90	70	164	7	可			
S0004	斎藤 達也	100	90	190	1	可			
S0002	坂本 利雄	45	40	85	14	不可			
S0111	山本 涼子	66	78	144	9	不可			
S0013	伊藤 隆	57	67	124	11	不可			
S0402	浜野 優子	87	67	154	8	不可			
S0403	藤城 夏江	82	85	177	4	可			
S0504	白井 茜	67	71	138	10	不可			
S0602	梅原 隼介	60	63	123	12	不可			
H0005	花岡 真	82	85	167	6	可			
H1001	森下 真澄	90	88	178	5	可			

1人目の評価が表示されます。

※セル【H4】の数式が「=IF(F4>=140,"可","不可")」になっていることを確認しておきましょう。

社内研修成績評価									
社員No.	氏名	筆記	実技	合計	順位	評価	評価	人数	
S0013	渡部 真紀	80	100	180	2	可	可		
S0004	神谷 秋彦	95	80	174	2	可	可		
S0003	川原 香織	65	55	120	13	不可	不可		
S0005	福田 直樹	90	70	164	7	可			
S0004	斎藤 達也	100	90	190	1	可			
S0002	坂本 利雄	45	40	85	14	不可			
S0111	山本 涼子	66	78	144	9	不可			
S0013	伊藤 隆	57	67	124	11	不可			
S0402	浜野 優子	87	67	154	8	不可			
S0403	藤城 夏江	82	85	177	4	可			
S0504	白井 茜	67	71	138	10	不可			
S0602	梅原 隼介	60	63	123	12	不可			
H0005	花岡 真	82	85	167	6	可			
H1001	森下 真澄	90	88	178	5	可			

数式をコピーします。

③セル【H4】を選択し、セル右下の■(フィルハンドル)をダブルクリックします。

数式がコピーされ、各人の評価が表示されます。

POINT ▶▶▶

演算子

IF関数で論理式を指定するときは、次のような演算子を利用します。

演算子	例	意味
=	A=B	AとBが等しい
>=	A>=B	AがB以上
<=	A<=B	AがB以下
>	A>B	AがBより大きい
<	A<B	AがBより小さい

2 条件が2つの場合

次の条件に基づいて、「優」「可」「不可」のいずれかの文字列を表示するように、関数を編集しましょう。

「合計」が160以上であれば「優」、140以上であれば「可」、それ以外は「不可」

次のように考えて、IF関数を2つ組み合わせて数式を入力します。

「合計」が160以上の場合は「優」
160以上でない場合で「合計」が140以上の場合は「可」
140以上でない場合は「不可」

セル【H4】の1人目の「評価」を修正し、コピーします。

社内研修成績評価							
社員No.	氏名	筆記	実技	合計	順位	評価	評価
S9313	遠藤 真紀	80	100	180	3	優	優
S9504	神谷 秋彦	95	89	184	2	優	可
S9803	川原 香織	65	55	120	13	不可	不可
S9805	福田 直樹	92	72	164	7	優	
S9904	斎藤 佳世	100	98	198	1	優	
S0002	根本 利雄	45	45	90	14	不可	
S0011	山本 涼子	66	78	144	9	可	
S0313	伊藤 隆	57	67	124	11	不可	
S0402	浜野 陽子	87	67	154	8	可	
S0403	橋本 夏江	92	85	177	4	優	
S0504	白井 智	67	71	138	10	不可	
S0602	梅田 雄介	60	63	123	12	不可	
H0905	花岡 順	82	85	167	6	優	
H1001	森下 真澄	90	86	176	5	優	

=IF(F4>=160,"優",IF(F4>=140,"可","不可"))

- ①セル【H4】をダブルクリックします。
- ②数式を「=IF(F4>=160,"優",IF(F4>=140,"可","不可"))」に修正します。
- ③【Enter】を押します。

1人目の評価が表示されます。
数式をコピーします。

- ④セル【H4】を選択し、セル右下の■（フィルハンドル）をダブルクリックします。
数式がコピーされ、各人の評価が表示されます。



関数のネスト

関数の中に関数を組み込むことを、「関数のネスト」といいます。



AND関数・OR関数

IF関数の論理式を指定するとき、「AND関数」や「OR関数」を使うと複雑な条件判断が可能になります。

●AND関数

指定した複数の論理式をすべて満たす場合は、真 (TRUE) を返します。
どれかひとつでも満たさない場合は、偽 (FALSE) を返します。

=AND (論理式1,論理式2,...)

例:

=AND (D4>=70,E4>=70)

セル [D4] が「70」以上かつセル [E4] が「70」以上であれば「TRUE」、そうでなければ「FALSE」を返します。

●OR関数

指定した複数の論理式のうち、どれかひとつでも満たす場合は、真 (TRUE) を返します。
すべて満たさない場合は、偽 (FALSE) を返します。

=OR (論理式1,論理式2,...)

例:

=OR (D4=100,E4=100)

セル [D4] が「100」またはセル [E4] が「100」であれば「TRUE」、そうでなければ「FALSE」を返します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	社内研修成績評価								
2									
3		社員No.	氏名	筆記	実技	合計	評価A	評価B	
4		S9313	遠藤 真紀	80	100	180	可	可	
5		S9504	神谷 秋彦	95	89	184	可	不可	
6		S9803	川原 香織	65	55	120	不可	不可	
7		S9805	福田 直樹	92	72	164	可	不可	
8		S9904	青藤 信也	100	98	198	可	可	
9		S0002	坂本 利雄	45	46	91	不可	不可	
10		S0111	山本 涼子	66	78	144	不可	不可	
11		S0313	伊藤 隆	57	67	124	不可	不可	
12		S0402	沢野 陽子	87	67	154	不可	不可	
13		S0403	楠城 夏江	92	85	177	可	不可	
14		S0504	白井 茜	57	71	138	不可	不可	
15		S0602	梅畑 謙介	60	63	123	不可	不可	
16		H0905	花岡 順	82	85	167	可	不可	
17		H1001	森下 真澄	90	86	176	可	不可	
18									

=IF (AND (D4>=70,E4>=70),"可","不可")

セル [D4] が「70」以上かつセル [E4] が「70」以上であれば「可」、そうでなければ「不可」が返される

=IF (OR (D4=100,E4=100),"可","不可")

セル [D4] が「100」またはセル [E4] が「100」であれば「可」、そうでなければ「不可」が返される

2 COUNTIF関数

「COUNTIF関数」を使うと、条件を満たしているセルの個数を数えることができます。

●COUNTIF関数

指定したセル範囲の中から、指定した条件を満たしているセルの個数を返します

=COUNTIF(範囲, 検索条件)

① ②

①範囲

検索の対象となるセル範囲を指定します。

②検索条件

検索条件を文字列またはセル、数値、数式で指定します。

例:


=COUNTIF(B4:B100,"処理済")

セル範囲【B4:B100】の中から「処理済」の個数を返します。


K列の「人数」に、「優」「可」「不可」の個数をそれぞれ求めましょう。

セル【K4】に「優」の個数を求め、コピーします。

社員No.	氏名	順位	評価	評価	人数
00013	佐藤 真由	100	90	100	1 優
00004	神谷 秋彦	45	40	91	14 不可
00003	川原 健輔	66	70	148	9 可
00005	堀田 清也	57	67	124	11 不可
00004	東條 悠也	100	90	100	1 優
00002	坂本 利雄	45	40	91	14 不可
00111	山本 涼子	66	70	148	9 可
00113	伊藤 隆	57	67	124	11 不可
00482	沢野 陽子	67	67	124	6 可
00483	梅田 夏江	90	85	177	4 優
00056	白井 麗	67	71	135	10 不可
00082	横地 雄介	60	63	123	12 不可
40005	花岡 晴	80	85	157	6 優
H1001	森下 真達	90	86	170	9 優

 (関数の挿入) を使って入力します。

①セル【K4】をクリックします。

②  (関数の挿入) をクリックします。

関数の挿入

関数の検索(S):
何が入力かを簡単に入力して、[検索開始]をクリックしてください。

関数の分類(C): **統計**

関数名(N):
COUNT
COUNTA
COUNTBLANK
COUNTIF
COUNTIFS
COVARIANCE.P
COVARIANCE.S

COUNTIF(範囲, 検索条件)
指定された範囲に含まれるセルのうち、検索条件に一致するセルの個数を返します。

この関数のヘルプ

《関数の挿入》ダイアログボックスが表示されます。

③《関数の分類》の をクリックし、一覧から《統計》を選択します。

④《関数名》の一覧から《COUNTIF》を選択します。

⑤《OK》をクリックします。

K4 - COUNTIF(\$H\$4:\$H\$17)

社員No.	氏名	筆記	実技	合計	順位	評価	評価	人数
S9313	遠藤 真紀	80	100	180	3	優	優	2
S9904	神谷 秋彦	85	89	184	2	優	可	2
S9803	川原 善雄	65	55	120	13	不可	不可	2
S9805	福留 善樹	92	72	164	7	優	可	2
S9904	栗原 信也	100	99	199	1	優	可	2
S9002	松本 利雄	45	46	91	14	不可	不可	2
S0111	山本 淳子	66	78	144	9	可	可	2
S0313	伊藤 隆	57	67	124	11	不可	不可	2
S0402	高野 隼子	87	67	154	6	可	可	2
S0403	横城 夏江	98	88	177	4	優	可	2
S0504	白井 寛	67	73	139	10	不可	不可	2
S0602	梅田 謙介	90	63	153	12	不可	不可	2
H0905	花岡 博	82	85	167	6	優	可	2
H1001	森下 真澄	90	88	178	5	優	可	2

関数の引数
COUNTIF
範囲: \$H\$4:\$H\$17
検索条件: []

範囲: \$H\$4:\$H\$17

《関数の引数》ダイアログボックスが表示されます。

⑥《範囲》にカーソルがあることを確認します。

⑦セル範囲【H4:H17】を選択します。

⑧【F4】を押します。

《範囲》が「\$H\$4:\$H\$17」になります。

※数式を入力後にコピーします。セル範囲は固定なので、絶対参照しておきます。

K4 - COUNTIF(\$H\$4:\$H\$17,J4)

社員No.	氏名	筆記	実技	合計	順位	評価	評価	人数
S9313	遠藤 真紀	80	100	180	3	優	優	2
S9904	神谷 秋彦	85	89	184	2	優	可	2
S9803	川原 善雄	65	55	120	13	不可	不可	2
S9805	福留 善樹	92	72	164	7	優	可	2
S9904	栗原 信也	100	99	199	1	優	可	2
S9002	松本 利雄	45	46	91	14	不可	不可	2
S0111	山本 淳子	66	78	144	9	可	可	2
S0313	伊藤 隆	57	67	124	11	不可	不可	2
S0402	高野 隼子	87	67	154	6	可	可	2
S0403	横城 夏江	98	88	177	4	優	可	2
S0504	白井 寛	67	73	139	10	不可	不可	2
S0602	梅田 謙介	90	63	153	12	不可	不可	2
H0905	花岡 博	82	85	167	6	優	可	2
H1001	森下 真澄	90	88	178	5	優	可	2

関数の引数
COUNTIF
範囲: \$H\$4:\$H\$17
検索条件: J4

検索条件: J4

⑨《検索条件》のボックスをクリックします。

⑩セル【J4】をクリックします。

⑪数式バーに「=COUNTIF(\$H\$4:\$H\$17,J4)」と表示されていることを確認します。

⑫《OK》をクリックします。

K4 - COUNTIF(\$H\$4:\$H\$17,J4)

社員No.	氏名	筆記	実技	合計	順位	評価	評価	人数
S9313	遠藤 真紀	80	100	180	3	優	優	2
S9904	神谷 秋彦	85	89	184	2	優	可	2
S9803	川原 善雄	65	55	120	13	不可	不可	2
S9805	福留 善樹	92	72	164	7	優	可	2
S9904	栗原 信也	100	99	199	1	優	可	2
S9002	松本 利雄	45	46	91	14	不可	不可	2
S0111	山本 淳子	66	78	144	9	可	可	2
S0313	伊藤 隆	57	67	124	11	不可	不可	2
S0402	高野 隼子	87	67	154	6	可	可	2
S0403	横城 夏江	98	88	177	4	優	可	2
S0504	白井 寛	67	73	139	10	不可	不可	2
S0602	梅田 謙介	90	63	153	12	不可	不可	2
H0905	花岡 博	82	85	167	6	優	可	2
H1001	森下 真澄	90	88	178	5	優	可	2

「優」の個数が表示されます。

数式をコピーします。

⑬セル【K4】を選択し、セル右下の■(フィルハンドル)をダブルクリックします。

数式がコピーされ、「可」と「不可」の個数が表示されます。